阪堺電車貸切乗車記

実施日：7 月 23 日

参加者：部員３３名、顧問３名

阪堺電車貸し切り列車企画（2023.7.23）　部員の感想

◎僕は、その日初めて阪堺電車に乗りました。阪堺電車の名前と路面電車であることくらいは知っていましたが、それがどのようなものなのか、どの区間を走っているかも全く知りませんでした。まず初めに乗ってみて思ったことは、阪堺電車は区間によってさまざまな姿を見せているということです。天王寺を出てはじめは、普通の併用起動でしたが、その後専用軌道になり、専用軌道が終わったと思えば住宅街にそのまま面しているような狭い生活道路を通ったり、それが終われば、軌道敷と道路が完全に分断されているところを通ったりと、バリエーションの変化に見ていてあきませんでした。車両は冷房設備が全くなかったですが、走行中は風が吹いていたのであまり暑さを感じることはありませんでした。しかし、運転停車中は風が入ってこないので、窓際にいるとすごく暑かったです。うちわを持ってくればよかったですね（泣）。我孫子道車庫での見学は、かなり暑かったです。試運転の幕が見られて楽しかったです。他にも、僕たちが乗った旧型車と同形式の旧型車が車庫に止まっていて、普段は入れない場所に入れてもらって、すごく楽しかったです。車内イベントも、僕も含め皆がワイワイ楽しんでいたと思います。今回の貸し切りを通して、阪堺電車の魅力に気づき、興味を持つようになりました。また同じような貸し切り企画があったら、参加したいと思います。　　（加藤）

◎日本で定期運行されている電車で 1 番古いモ 161 形に乗れて良かったです。また、我孫子道車庫の公開は素晴らしい思い出となりました。このような機会を作っていただき、ありがとうございます。阪堺に限らず、近鉄や神鉄のような私鉄を貸し切れるような機会があれば、是非参加したいと思います。　　（田中）

◎私が阪堺電車を先生方や先輩の方々、そして同級生の友達と乗車してみて、とても楽しかったです。まず貸切する車両がやってきた時、上の方向幕に「貸切」と表示されていることに興奮しました。そして車両に乗った時も楽しく、折り返しの浜寺駅前停留所に到着した時に運転席を見学したり、車両の写真を撮影しました。

　そして折り返しの車内では、鉄道に関するクイズを行ったりしました。大和川検車区に車両が到着した時に方向幕を好きな行先に変えてくれて、その行き先を撮影したりしました。車両に戻り、また電車に関するクイズを行いながら阪堺線を走行し、終点の恵美須町停留所で解散しました。この貸切体験はとても良いものになりました。　　（小島）

◎僕は、初めての鉄道研究部の課外活動で阪堺電車に乗り、最初はドキドキ・ワクワクしましたが、途中から鉄道に関するクイズとかの企画をして、最後は楽しくて、嬉しくて、いい課外活動になったと自分では思いました。（垣内）

◎僕は阪堺電車の貸切企画に参加して良かったと思いました。その理由は三つあります。

一つ目は、思っていたより車内が暑くなかったからです。初めは冷房がついていない自動車のように暑いかと思っていましたが、窓を開けて走行すると風が通るからか意外と涼しかったのです。

二つ目は、となりの人と話すことができたからです。僕は今まであまりほかの部員と話す機会がなかったので、今回阪堺線の話などできて車内で楽しく過ごすことができました。

三つ目は、列車の車内放送のまねをしていたのが面白かったからです。僕も一緒になってやりたかったのですが、少し気恥ずかしくて出来ませんでした。でも他の人のを聞いているだけでも面白おかしい気分であっという間に時間が経っていました。

鉄道研究部の企画に初めて参加できてとても良い経験になりました。これからの活動も楽しみです。　（池上）

◎私の家は阪堺電車の線路の近くにあって夜になると電車が走る音がよく聞こえます。特に古い車両は吊りかけ式の独特なモーター音が響きます。小さいころから大阪市内に行くときはよく阪堺電車を使っていました。最初、先生から阪堺電車で貸切列車を走らせることを知ったとき、こんな小さな鉄道会社にわざわざみんなで乗りに来てくれるなんて地元民としてすごくうれしいなと思いました。その後、冷房がついている車両を貸切るか冷房のついていない旧型車両にするかのアンケートがあったのですが、暑いし冷房があるほうがいいなと思っていたら他のほとんどの部員が冷房のついていない旧型車両を選んでいてさすが鉄オタだなと思いました。

そして当日、集合場所である天王寺駅に行こうと阪堺電車の停留所に向かったのですが、運悪くちょうど電車が来ているにも関わらず道路の真ん中にある停留所に行くための信号が赤で、目の前に止まっているのに信号を待っているうちに電車が行ってしまいました。次の電車を待ってもよかったのですが、堺市内の区間はほぼ終日 12 分間隔で次の電車を待つと集合時間ギリギリになってしまうので、南海本線で先回りすることにしました。阪堺電車と南海本線はほぼ全線で並走していてこういう時に便利です。普通電車に乗って住吉大社まで行きました。住吉大社駅を降りるとすぐ目の前の道路に阪堺電車が走っています。乗り遅れた電車には追い付きませんでしたが、すぐに恵美須町行の電車が来たので、乗りました。我孫子道からは本数が 2 倍に増えて 6 分間隔になり、さらに恵美須町方面も加わるのでとても本数が多いです。天王寺に行くのに恵美須町方面の電車に乗ったのは最近乗っていなかったから。それだけです。終点恵美須町の一駅手前の新今宮駅前で降りました。もともと全部の席が埋まるぐらい人が乗っていたのですが、新今宮駅前で私を含むほとんどの人がおりて降りずに恵美須町まで乗ったのは 3 名ほどしかいなかったと思います。そこから 10 分ぐらい歩いて天王寺駅に着きました。まだ集合時刻の 20 分以上前だったと思いますが、もう 10 人ぐらい人が集まっていていったい何時から来ているのかと思いました。

集合時刻になって全員がそろうと阪堺電車の停留所に移動しました。止まっていた車両よく我孫子道の車庫に止まっている緑色の電車でした。鉄道にはそんなに詳しくないので何型かはわかりませんが、みなさんとても興奮していて楽しそうでした。時刻表を見るとこの電車が発車する 1 分前に浜寺駅前行の電車があって、そのあとを追いかけるようにゆっくりと天王寺駅を発車しました。走行

中は風が入ってくるのでかなり涼しかったです。やがて大和川を渡って堺市内に入るとちょっとドキドキしてきました。私が母に電車の時刻を知らせると途中の停留所で母と弟が手を振ってくれると言っていたので、本当にいるのか心配だからです。ですが、母と弟はちゃんといてみんなが手を振ってくれていました。ほかの人はだれかは知らないと思うけれど、それでも手を振ってくれたのでとても感謝しています。そんなことがあって電車は終点の浜寺駅前に到着しました。電車はホームの少し手前に止まったので、高そうなカメラをもって写真撮影をしている人もいました。

休憩が終わり、恵美須町に折り返して車内でアナウンス大会が始まりました。私は何も知らなかったのですが、前日からお知らせしていたようでみなさんとても上手で思わず笑ってしまいました。そのあとも今回の感想を話しあったりしたのですが、いつも一人で見ている景色を今日は鉄道研究部の部員といっしょに見ていて見慣れた景色も今日は少し特別に見えました。途中の我孫子道の車庫でも休憩がありました。特別に線路に入らせてもらい、全員で写真を撮ったり、幕を回して試運転の幕にしてもらったりと賑やかでした。ですが、鉄道の知識に関してはほぼ素人の私からすると試運転の幕の何が特別なのかがちょっとわからなくて、逆に今では使わないであろう天神ノ森や東湊の幕があってそこが興奮しました。最後にクイズ大会をして無事終点の恵美須町に到着しました。

今回、私自身が今まで巡検に参加したことが少なかったので、とても楽しい有意義な時間になりました。地元に住んでいてもみんなで来て初めて知ったり気づいたりしたこともあったので、参加してよかったです。　　（日下）

◎8 月 24 日　阪堺電気軌道様のご協力の元、貸切列車を運行して頂きました。

午前 9 時　JR 天王寺駅改札口に集合した部員一同、ここから阪堺電車天王寺駅へ移動します。今回の参加部員は総勢 33 名！蛇のように連なりながら阪堺電車天王寺駅を目指しました。天王寺停留所に到着後、普段は見られない縦列停車を見ながら、貸切列車に乗車しました。
今回、166 型車両を貸し切らせて頂きました。ちなみに顧問も部員も当日まで分からずヒヤヒヤでした……。

午前 10 時 13 分　我々を乗せた貸切列車は天王寺駅を出発、一路浜寺公園を目指します。
浜寺公園までに、166 型を撮りにこられている方がまぁまぁいらっしゃり少しびっくりしました…JR の貸切や試運転ならまだしも、どこから情報を手に入れてるのかと思いましたね…。

そうこうしているうちに、車庫が併設されている我孫子道を通過、大和川の橋梁を渡り、浜寺公園に到着しましたが、まさかの本線上の仮乗降場で停車！私は少し興奮しました…

その後部員一同がトイレ休憩を行い、再び車内へ戻り、次は我孫子道を目指して出発しました。さて、我孫子道までに車内放送大会を行いました。参加した部員はマニアックすぎる放送ばかりでしたね…さすが鉄研と言ったところでしょうか…ちなみに私は 2 番手の堺筋線の放送がリアルすぎて興奮しました…

我孫子道に到着後、30 分の撮影会を行いました。幕回し、入替灯点灯と貸切ならではの体験をさせて頂き、部員一同大興奮でした。「こんな幕あるんや」などと感心していると、あっという間に 30 分が終了、再び貸切列車に乗り込み、終着の恵美須町を目指しました。

恵美須町までは、車内放送大会と打って代わり、クイズ大会を行いました。鉄道知識や顧問からのクイズ、音鉄クイズなど様々なジャンルのクイズを行い、私もとてもいい勉強になりました。その後、今日の感想会を行い、新今宮駅を通過し、あと少しで恵美須町に到着するところで、本日担当していただいた運転手様２名に、副部長よりお礼をして頂き、恵美須町駅に到着しました。

恵美須町到着後、回送列車をお見送りした後、順次解散となりました。

私は貸切列車に乗車するのはこれが初めてでした。そして、非冷房の昭和の電車に乗ることができ、昭和の皆さんがどのような思いをされていたのかも思い知ることが出来ました。

最後となりましたが、今回貸切の計画を立てて頂いた顧問の先生方、列車の安全運行に務めて頂いた、阪堺電車の関係者様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

（辻本）

◎今回の企画は清風鉄研での初めての活動であった。清風鉄研の活動が初めてなことや、人生初となる貸し切り電車の乗車で、興奮していた。しかも、今回貸し切った車両は「モ 161 型」で昭和3年に製造された非冷房の古参車両で当学園の学園長先生とほぼ同じ年齢だ。

乗るとすぐに昭和の香りがただよった。停車中はすごく暑かった。動き出すと自然な風が車内に入ってきた。普段は全ての駅に停まるのに、駅を通過することに興奮した。

あっという間に折り返して、我孫子道についた。普段入れない車庫に入ってモ 166 の撮影や集合写真の撮影をした。部員の要求で幕を回してくださった阪堺電車の社員の方には感謝の気持ちでいっぱいです。

我孫子道の車庫にはモ 161 型のモ 161、モ 162 などの普段あまり見ることのない車両たちや、不自然に曲がっている線路に興奮した。

その後すぐに恵比寿町に着いた。車庫に回送されるモ 166 から「今日は乗ってくれてありがとう」と言っているように思えてきた。今回は貴重な経験になった。

今回の企画を考えてくださった顧問の先生方、阪堺電車の社員の方に心より感謝申し上げます。

（角前）

◎私は、今まで阪堺電車に乗ったことがなかったので、このような電車の貸切という機会を得ることができ、とても楽しみにしていた。貸切体験当日、乗車したのは旧型のモ 166 だった。モ 166 には冷房はなかったが、窓を全開にしていたので風通しがよく、開放感があった。また、木製の車内や、床下から聞こえる吊り掛け駆動のモーター音など、古い電車ならではの風情を感じることができ、普段比較的新しい電車に乗ることが多い私にとって、逆に新鮮だと感じた。そして、この貸切体験で私が特に印象に残ったものは、我孫子道車庫でのモ 166 の撮影会である。なぜなら、運転士の方のご厚意で、幕回しや試運転幕の掲示、さらには前照灯の点灯までしていただき、普段見ることがない光景を写真に収めることが出来たからである。

（松本）

◎鉄道研究部という部活での久しぶり行事だった阪堺電車貸し切りはすごく楽しいものでした。前日の夜は楽しみでなかなか寝付けませんでした。

当日高揚感が高まる中ホームに降りると止まっている電車には「貸切」の文字、電車を貸切るという新鮮さもあり私のテンションは一気に上がりました。

貸切る電車には冷房がないと事前に伝えられていたためすごく熱い車内を想像して身構えたいたものの、いざ走り出すとすごく涼しく驚きました。その後車内で写真を撮ったりしているとあっという間に浜寺公園駅に、時間の流れを感じました。

浜寺公園駅を折り返し恵美須町駅に向かう車内では、車内放送やクイズ大会などすごく楽しい時間を過ごせました。

長いようで短かった貸し切りは私にとってすごく記憶に残る行事でした。

最後に、この行事を企画、実行してくださった先生方に感謝申し上げます。　　（渡辺）

◎清風鉄研の阪堺電車貸切体験に参加しました。当日は快晴で気持ちのいい天気でした。さて、あべのハルカスの真横の天王寺駅前にモ166型(旧南海色　通称ビークル・スター)がすべりこんできました。周りは道路、ビル群で、車両のレトロでゆったりとした雰囲気が僕たち部員を阪堺電車に溶け込ませていきました。極暑でしたが車内はそこまで過ごしにくくなかったです。営業列車と縦列停車した時にはワクワクが止まりませんでした(笑)コンプレッサー音と吊り掛け駆動の加速音とともに天王寺駅前を出発し、大阪の街をゆったりと進みます。僕自身は阪堺電車には何回か乗ったことがあり、少し見慣れた景色だったのですが、いつもと違う雰囲気の中だと、やはり何かが違いました。そして浜寺駅前の手前の行き違い線に停車し、トイレ休憩を行いましたが、撮影に夢中でトイレには行きませんでした(笑)浜寺駅前を出発すると、もう旅の半分が過ぎたことに気が付き、楽しい時間はこんなに早くすぎるのだと、びっくりしました。そして！中3の先輩が企画してくださった、車内放送大会が開かれ、何人かが車内放送をしていて、マニアックなものが多く、楽しかったです。そして列車はなんと、僕たちを乗せたまま我孫子道車庫に入線！一番興奮しました。そこで休憩＆撮影会が行われ、ある先輩が試運転お願いします！と言ったところ、職員さんが笑顔で快く受け入れてくださり、幕を回してくれて、前照灯もつけていただいて、とても楽しく満足した撮影会でした。その後車庫を出発し、恵美須町に到着しました。最後の車内では今回の感想を全員発表し、今回の旅に幕を下ろしました。

今回、人生初の「貸切」でした。いつもと違う雰囲気で、本当に楽しい時間を同じ趣味の人たちと過ごせて良かったです。今回の旅を企画してくださった先生方、また楽しませてくれた阪堺電車の職員の皆様、本当にありがとうございました！　　（大島）

◎阪堺電車貸し切り企画で、たくさん写真を撮ることができました。また、無事終わることができ、部活内での最高の思い出ができたと思います。この企画を考えてくださった先生方、先輩方にはとても感謝しています。ありがとうございました。（赤路）

貸切幕

試運転幕で停車中のモ１６６型

◎What I could see.

It was good excursion for our club.

Since I belonged to SRC（Seifu Railway Research Club）,chartering train was the first time.

As I said during excursion, this excursion is my important memory in normal school life.

As club captain, I watched members. Everyone seemed happy and is enjoying.

Also members of digital division did their best for enjoying the excursion.

As a result, we were able to enjoy our excursion instead of training camp.

Thank you , Mr. Sato, Mr. Yoshihara, Mr. Kurita and club members.

今回の阪堺貸し切り企画は、とても良いものになったと思います。

新型コロナの影響で渋々あきらめるしかない合宿や様々なイベントがあった中、この貸し切り企画は、マスク着用不要という形で行えたので、普通の高校生活の大切な思い出になりました。

部員たちを見ていても、各々が車内で写真撮影をしたり、車庫での撮影をする時には目を輝かせていました。さらに、デジタル課が様々な企画を用意していて、貸し切りという状況を一生懸命楽しんでいるように見えました。

これからもこういった部員たちが仲良くなれるイベントができるといいな、と思います。

（増田）

◎7 月 23 日に僕たちは、「阪堺電車貸切体験」で阪堺電車の「モ 166」に乗らせて頂き、大和川検車区に行きました。今回、僕たちの乗った「モ 166」は、90 年以上も使われている車両らしく、ぼくは初めて 90 年以上も使われている車両に乗ることができました。

検車区では、幕回しを見せて頂き、「住吉」や、「試運転」等の珍しい幕を色々見させてもらいました。今回の阪堺電車貸切体験では、とても良い体験ができました。（鳥觜）

◎7 月 23 日に阪堺電車貸切企画に参加しました。阪堺電車は天王寺駅で何度か見かけたことしかなく、乗車するのは初めてでした。貸切で使用されたのはモ 161 形で、大正時代に製造されたかなり古い車両です。こんなに古い車両が動くことにまず驚きました。そして日本では貴重な、吊りかけ駆動の車両で、その独特な駆動音が非常に良かったです。沿線で印象に残ったのは、住吉駅の阪堺線と上町線の交差するところと、大和川の鉄橋、堺市内の併用軌道区間です。特に大和川の鉄橋は、周りに高い建物が全くなくて、空が良く見えたので非常に綺麗な景色でした。車内では、クイズ大会やアナウンスのモノマネ大会が開催されました。僕は地下鉄堺筋線の車内放送のモノマネをしました。それなりに受けたと思います。
吊りかけ駆動の音を楽しんだり、沿線の風景を楽しめたりした、今回の貸切企画はとても楽しかったです。阪堺電車の関係者の皆様、本当にありがとうございました。　　（滝本）

◎7 月 23 日、日曜日の朝。清風学園鉄道研究部の部員 33 名、顧問 3 名計 36 名は JR 天王寺駅中央口に集合していました。この日我らが鉄道研究部は大阪府内唯一の路面電車である阪堺電車を貸し切り、およそ 2 時間 30 分の「鉄道旅」を楽しみました。

一行が天王寺駅前停留所の改札前で待機をしていると奥に見える阪神高速 14 号松原線の方から正面に「166」と大きく描かれた 1 両編成の電車がホームに入線してきました。ドアが開き、乗車する際には私も含めて部員全員が興奮していました。机に荷物を置き、車内の感想を部員同士で言い合っていると「ガタッ」という音とともに吊り掛け駆動方式のレトロなモーター音がうねり出し、天王寺駅前停留所を発車しました。

下：JR 天王寺駅中央口で停留所への移動を待つ一行

上：吹き込む風を浴びながら大阪市南部の景色を楽しむ一行

発車するまでは暑いと感じていた車内も動き出すと風が吹き込んできて快適になると同時に、部員の興奮も最高潮に達しました。浜寺駅前停留所までのおよそ 50 分間は景色や車内を楽しんでいる部員もいれば、カメラを抱え撮影を行う部員もいました。私も iPhone で車内の様子や後面展望を撮影しました。私自身は阪堺電車に乗車したのは 3 年ぶりだったので目に入ってくる大阪市南部から、堺市までの住宅街の景色を楽しんでいました。

浜寺駅前停留所に到着し 20 分ほどの休憩後、阪堺電車の大阪市内のもう 1 つのターミナルである恵美須町停留所に向けて折り返しました。復路の車内では部員による車内放送大会が行われました。どの部員も私には絶対にできないような素晴らしい車内放送をしていて、私は驚きを隠せませんでした。

大和川検車区で2度目の休憩を行い、撮影大会を行いました。有難いことに「貸切」と表示されていた表示幕を回して頂き、撮影を行っていてた部員は大興奮でした。特に「試運転」と表示された際には部員のカメラのシャッター音が鳴り響きました。

上：大和川検車区で「試運転」の撮影を行う部員

2度目の休憩を終え、恵美須町停留所への社内ではクイズ大会を行いました。私も東海道新幹線の新チャイムである「会いにいこう」についてのクイズを出題しました。3択問題だったのですが、全員正解して正直驚きました。

天王寺駅を出発してからおよそ 2 時間 30 分、12 時 41 分に恵美須町停留所に到着しました。回送として出発する時まで部員はカメラを抱えていました。この際に私は良い「鉄道旅」になったと改めて思いました。（田中優）

◎当企画は神戸電鉄巡検を除く、清風鉄研での初の活動であった。鉄研での活動が初めてだと言うことや、人生初の貸し切り列車乗車に心躍らせていたが、一つ心配なことがあった。それは、熱中症である。今回貸し切った車両は「モ 166 形」という。

当学園の学園長先生とほぼ同じ年齢の列車で、冷房がついていない車両なのだ。 当クラブの顧問によると「止まっている間は暑いが走っている間は涼しい」とのことだったが、平成生まれで夏はクーラーの下で育った私からすると考えられず、信じられなかった。

乗るとすぐに“昭和のかをり“が漂った。椅子に着くと汗がどっと吹き出した。停車中はやはり暑かった、実に暑かった。そして座席が短かかったので部員がぎゅうぎゅう詰めで座り暑苦しかったがコロナがましになったことが実感できた。

動き出すと自然の爽快な風が通り抜けとても涼しかった。クーラーにはない寒くなく、暑くなくのちょうどよい気温だった。普段ならばあり得ない駅を通過することに興奮していると、すぐにあびこ道車庫に到着し、そこで幕回しをして下さった。部員からの要望で試運転幕にして頂いた。部員の身勝手な要望に応えて頂き、阪堺電鉄の社員様には本当に感謝である。そんなこんなでお開きの時間が近づき、ついに恵美須町に着いてしまった。車庫への返却回送には少し哀愁がただよっていた。

今回の企画はとてもよい経験になった。今回の貸し切り計画を企てて頂いた先生方及び、阪堺電鉄の社員様に心より感謝申し上げます。（土井）

◎1 つ目は、車内に乗って感じたのは車内の装飾等が至る所にあったことです。いつも乗る車両にはそのような装飾をしている車両はあまり無いので、それらを見るのが楽しかったです。2 つ目は、今回乗った 191 号車は、非冷房だったので熱中症対策等が心配でしたが、いざ走り初めて見ると意外と冷気が入ってきていたのでそこまで心配せずに乗ることができました。3 つ目は、部活でお世話になっている人たちと共に、部活として電車の貸し切りをできたことです。稀に部活の友達と私用で乗る事がありますが、その時とは別の楽しさがあり非常に楽しかったです。このような機会を作ってくれた顧問の方やこの企画を盛り上がるような企画を用意した部活の先輩方には感謝しかありません。今後この様な企画があれば是非とも参加したいです。（仲西）

◎まず、このような普段できない体験をさせてくださって、本当にありがとうございました。日程などが合わず、これまでの巡検には参加することができず、今回が初めての参加になりましたが、貸し切り電車の雰囲気や阪堺線の魅力を感じられ、またほかの部員との親睦を深めることもできて、とても素晴らしい経験となりました。

僕はこの巡検に参加して思ったことであります。それは、阪堺線の魅力があまり知られていないのではないだろうか、ということです。僕は普段から乗換駅として天王寺駅を利用していますが、阪堺線に乗ったことは過去に数えるほどしかなく、それも住吉大社への参拝のためにしか使ったことしかありません。でも今回の巡検を通して、阪堺線には僕たち鉄道ファンだけでなく、鉄道に関心が無い方でも楽しめる点がたくさんあるのではないかということに気づきました。例えば今回乗車した 166 形の内装には、佐藤先生がおっしゃられていた通り、内装にこの電車が製作された時代の面影があります。最近は『昭和レトロ』という言葉があるように、そういった凝った昭和のデザインのものを SNS に投稿するのが若者の間で流行しています。天王寺は多くの若者が利用するターミナル駅ですから、天王寺駅前停留所で電車の運行の合間に内装の撮影会などをすれば、そこに来てくださった皆さんにその雰囲気を味わってもらえますし、阪堺線の一つの魅力であるレトロさが SNS などを通して、もっと多くの人に伝わるのではないかと思います。僕はこの巡検を通して、阪堺線の魅力に触れることができました。そしてその魅力がより多くの人に伝わってほしいと思いました。改めてこの機会を与えていただき、有難うございました。 （東）

◎7/23 に JR 天王寺駅の近くにある阪堺電車の貸切企画に行ってきました。昭和からある、路面電車です。乗った車両はモ 166 系で正面に V のような塗装がありインパクがある車両です。こちらは昭和の車両なので冷房が装備されていないのであついかなと思っていたら意外と列車が走ると、窓から風が入って涼しかったです。また、天王寺駅方面へ帰るとき先輩方が車内アナウンスのモノマネをしていて、とても再現度が高く、面白かったです。そして、車庫前で手回し横断幕を回してもらいとても面白かったです。またこのような機会があれば、是非参加したいと思いました。（大槻）

◎7月23日に阪堺電車の貸し切り企画に行きました。貸し切り列車の出発駅である天王寺駅は非常に暑くまた今回乗る車両は冷房や扇風機がついていないため、暑さが心配でしたが発車するとすぐに風が入ってきたので良かったです。やがて併用軌道の区間に入り、私は路面電車に長い間乗っていなかったので新鮮味がありました。そして一時間ほどの移動でしたが、あっという間に列車は浜寺駅前駅に着きました。この駅舎は南海本線の高架化工事に伴い移設されるため予定なので来ることができて良かったです。この後我孫子道駅にある車両基地に行きました。ここでは、方向幕を回すところを見せてくださり貴重な経験ができました。写真撮影会が行われましたがうまく撮れなかったので写真は割愛します。終点である恵美須町駅に向かう途中で阪堺電車にまつわるクイズ大会が催されましたどの問題も非常に難しく楽しんで解くことができました。恵美須町駅で解散となりました。今回は2時間半ほどの短い時間でしたが楽しんで乗ることができよかったです。普段通学で使っている列車とはまた違ったよさがありまた機会があれば乗りに行こうと思います。（山越）

◎僕は、阪堺電車体験で初めて阪堺電車に乗りました。 最初は初めて乗るので緊張しましたが、発車する時、電車の速さが速かったので、緊張感が晴れました。 車内では、友達と一緒に写真を撮ったり、窓から、阪堺電車の新型車や、阪堺トラムなど、複数の電車を見ることができて、嬉しかったです。さらに、阪堺電車の車庫にも行きました。そして何より一番嬉しかったのが、車内でアナウンスができた事が、一番嬉しかったです。その他にも、運転手に運転席を見せてもらったり、車庫で、集合写真を撮ったり、車内で、今後の目標についての写真などを撮影しました。 僕は、阪堺電車体験が、とても楽しかったので、また、この企画をやって欲しいです。 佐藤先生、吉川先生、栗田先生、先輩方など、この企画を、作ってくださり、ありがとうございました。（枝川）

◎終業式が終わり、夏休みが始まってから最初の日曜日の R5 年 7 月 23 日、阪堺電車モ 166 形を使った同鉄道の貸切体験が行われた。

当日の朝 10 時 9 分、天王寺駅前駅に、乗車予定の貸切電車が到着した。乗車すると、天王寺駅前駅は乗車ホームがひとつしかないので、進行する方向には定期便が停車していた。その定期便が発車した後、10 時 12 分、この電車も出発した。

天王寺駅前駅を出発してからしばらくの間は、大阪府道 30 号線上を南進していく。この間は、100km 歩行のルートと同じ所を通るので、一度それに参加したことがある私は、その時のことを思い出し、懐かしい気持ちになっていた。また、この貸切体験全体の話にはなるが、この電車は、終点の浜寺駅前駅までノンストップなので、その間の駅を、「この電車は、貸切電車です。次の電車をご利用ください。」という放送がホームで流れているのを車内で聞きながら通過していくのは、気分爽快であった。

さて、右手に清風情報工科学院という清風系統の大学院が見えたところで、府道 30 号線とはお別れである。ここからは家と家の間を走っていく。しばらくすると、電車は神ノ木駅手前で登り坂を登り、南海高野線と立体交差した。絶好の撮影ポイントのひとつではありそうだが、そんなことは知らなかったので、南海の車両は撮れなかった。

住吉駅で阪堺阪堺線と合流した。ここから先は南海本線と並走する形となる。そして、我孫子道駅を通過すると、電車は大和川を渡る。ここで、先ほど別れた府道 30 号が見えて、ああ、今やっぱり 100km 歩行と同じルートをたどっているのだなと思っていた。電車は堺市に入った。そして、広めの道に出たので、交差点から府道 30 号が見えて、また懐かしさを感じていた。

しばらくして、電車は終点の浜寺駅前駅に到着した。この駅で 1 回目の休憩&撮影タイムをとった。到着してから 20 分後、電車は反対向きに出発した。

出発してから、車内では、鉄研部員による車内放送大会が行われた。数人の参加者が、それぞれ練習してきた車内放送を、本物のように読み上げる大会である。私は参加しなかったが、参加者の放送を聞いていると、英語放送を含めて、本物のようにすらすらと読み上げていて、すごいなぁ、と思った。そうしていると、電車は我孫子道駅に到着した。そして、そこの車庫の入り口で停車した。ここで、2 回目の休憩&撮影タイムをとった。電車が前照灯をつけながら、行き先を試運転にするという

ファンサービスがあり、私含め部員たちは大いに盛り上がっていた。到着してから 20 分後、電車は先程と同じ向きに発車した。

住吉駅では、今度は阪堺阪堺線の方に分岐した。もうすぐこの体験も終わりを迎える。

そして、電車は恵比寿町駅に到着した。降りる際、今回運転してくださった方にお礼を言った。それから数分後、電車は反対向きに発車し、この体験は終了した。

改めて、感想だが、非冷房車だったから、昔の夏の車内は、さぞ熱中症になった人がたくさん出たのだろうな、と思った。もっとも、そんな昔に熱中症の概念などないのだが。（泉）

◎2023 年 7 月 23 日（日）阪堺電車様に電車を清風学園鉄道研究部のために、貸切で走行していただきました。

今回は、今はもう走っていない（イベントで 2023 年 3 月 4 日～4 月 16 日の期間で土日休に運行したことを除いて）、国内現役最古のモ 161 形車（モ 166 号車）を貸切運転でした。

～行程表～

天王寺駅前（HN01）
↓
浜寺駅前（HN31）
トイレ休憩＆撮影会
↓
我孫子道（HN15）
トイレ休憩＆撮影会
↓
恵美須町（HN51）解散

モ 161 形車（モ 166 号車）

～当日の流れ～

天王寺駅～浜寺駅前までは車内の写真撮影や車内や運転席の見学を行い、外の景色なども見ている余裕も無く、国内現役最古のモ 161 形車（モ 166 号車）の乗車に堪能していました。浜寺駅前に到着してからはモ 161 系車（モ 166 号車）の外からの電車の撮影し、さまざまな珍しい写真を撮りました。

浜寺駅前～我孫子道までは進行方向が反対になるため、帰りは全面展望が取れてとても良い景色を見ることが出来ました。

我孫子道では、車庫の見学をしまし
念でしたが、外から車庫に入っている昔
ことが出来、とても興奮しました。さらに、
161 系車（モ 166 号車）の方向幕を回
転になっているレアなモ 161 系車（モ
頂き、良い思い出になりました。

さらに、先輩方が作ってくださった問題
クイズや車内アナウンスの再現などを行
ごいな!と思いました。

我孫子道～恵比寿町までては、今回の
どを一人一人発表し、部員のみんなの感
られ素晴らしいと感じました。

最後は恵比寿町で、1 日お世話になっ
166 号車)を見送り解散となりました。

方向幕が『試運転』の
モ 161 形車（モ 166 号車）

た。中へ入れなく残
の電車などを見る
僕が乗っていたモ
転して頂き、試運
166 号車）見せて

で、阪堺電車内で
い、とても上手です

イベントの感想な
想が、電車愛感じ

たモ 161 形車(モ

～まとめ～

今回の阪堺電車貸切を行ったことによって、モ 161 形車(モ 166 号車)の様な非冷房車に乗ることにより、昔ならではの感覚を味わい、平成生まれの僕たちにとって、初体験で新鮮な非常に良い経験となりました。

阪堺電鉄様、貸切という貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
これからのクラブ活動に繋げていきます。また何か機会があればよろしくお願いします。　（川畑）

◎僕は今回の阪堺電車貸し切りを通じて多くの新入生と会話することができました。また、今まで乗ったことがない車両に乗ることができたという意見を多く聞けました。よって、僕はこれから新入生の歓迎会などに活用していけたら良いと思いました。そして、僕が乗ったことのないような古い車両に乗れてうれしかったです。このような機会を与えてくださりありがとうございました。（仲谷）

◎僕は、この日初めて貸し切り電車に乗りました。モ 161 型という電車は、エアコンがついていないので、暑いかなと思っていましたが、走行中はかなり涼しかったです。今まで乗ったことがなかったモ 166 型だったので、とても嬉しかったです。また、走行中のモーター音や、旧型車両特有の揺れがとてもよかったです、機会があればまた乗りたいです。（今泉）

◎この度清風学園鉄道研究部は、2023年7月 23 日に阪堺電車貸切企画を行いました。
走行ルートは天王寺駅～住吉駅を通って最初の目的地である浜寺公園駅前まで行きました。その後浜寺公園駅前を出発して我孫子道駅に行きました。そこで休憩および車両の写真撮影や記念撮影を行ったのち最終目的地である恵美須町駅に向かいました。

貸切らせて頂いた車両は、阪堺電車モ161系モ166号です。モ161系は定期運用されている電車としては日本最古であり定期運用を除いた動力保存車を含めた場合でも日本で５番目に古いそうです。製造された年が昭和３年（1928年）で今年で95歳となっています。兄弟車両（167・169・173など）が解体されている中でこのような貴重な車両に乗れてとても嬉しく思っております。車両は非冷房車でしたが走行中は窓からの風でとても涼しかったです。またコンプレッサーなどのエンジン音がとてもいい音で気持ちよかったです。

また阪堺電車はなかなか面白い路線だと感じました。その理由はある時は路面電車であり、またある時は住宅地をかき分けて走っていき、またまたある時は高架の上を走ったりするところが面白く感じました。

今回鉄道研究部員として始めて貸切企画に参加してとても楽しいじかんをすごすことが出来ました。これからも一人の鉄道研究部員として色々な企画を考えて提案している様々なイベントを実施し、イベントに積極的に参加していきたいと思います。（川畑聡）

↑浜寺公園駅前で撮影（撮影者：本人）

↑我孫子道駅の車庫前で撮影した高校１年の鉄研部員と吉原先生（撮影者：中１部員）

←我孫子道駅の車庫前で撮影した阪堺電車モ１６１系１６６号の兄弟である１６１号であり現在も現役である（撮影者：本人）

◎今回の阪堺電車の貸し切りに参加して色々楽しめました。初めて非冷房車に乗ったり、車庫で撮影会をしたり楽しかったです。貸し切りにしてくれた電車もあまり走っていないので、貴重な貸し切りにしてくれた阪堺電車さんに感謝です。私は阪堺電車に乗るのが ５ 年ぶりで、良い貸し切りになりました。車庫で貸し切りにしていた車両の幕回しをしてもらったり、警笛を鳴らしてもらったりと、貴重な瞬間を見せてもらいました。私は阪堺電車にあまり乗ることがないので、こんなに貴重な時間をかけて貸し切りした阪堺電車さんに感謝です。（國中）